

# きつき 市議会だより

2026  
**5**  
No.80

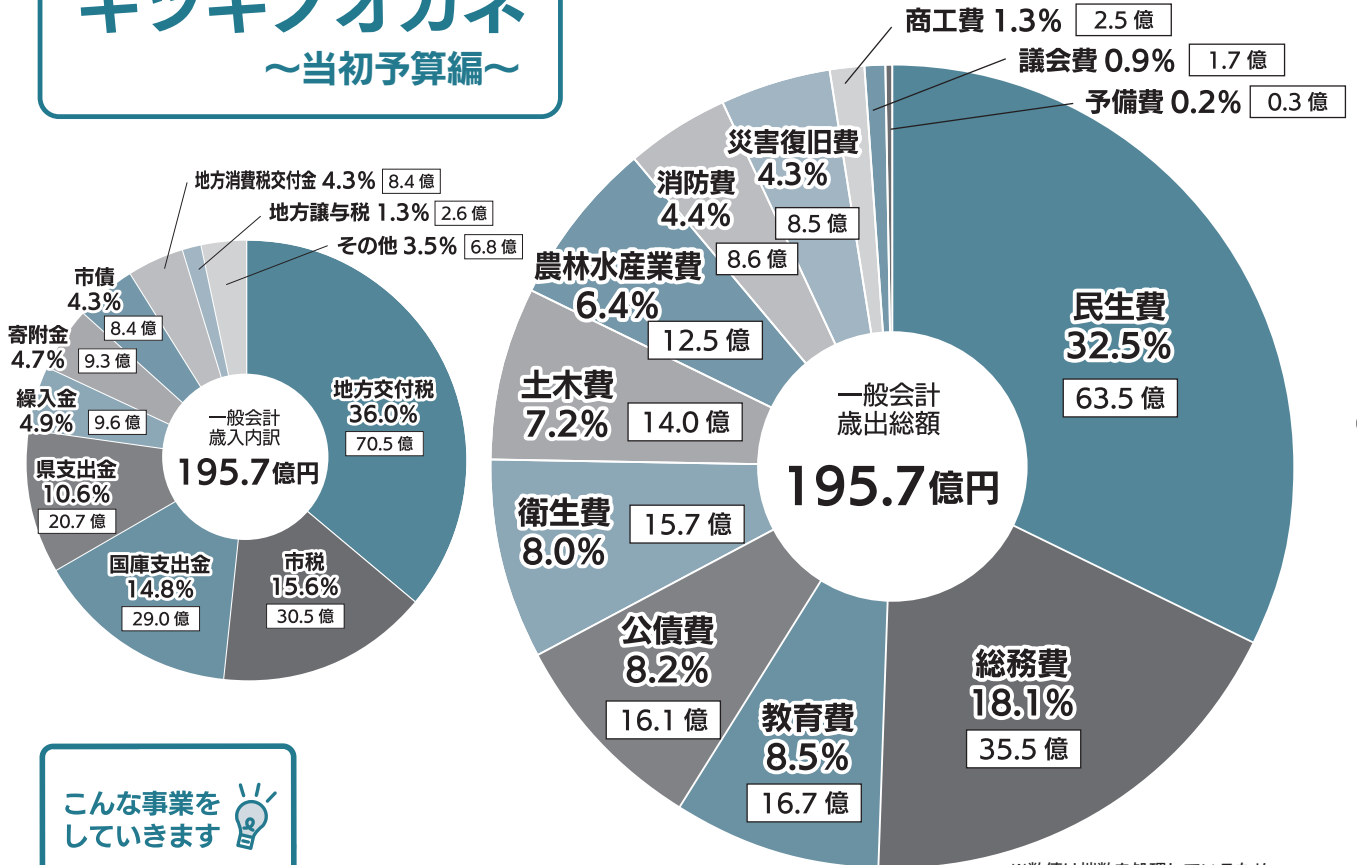
「決めているのは、杵築のこれから」

## Topic

- ・キツキノオカネ (令和8年度予算) …… P.2～3
- ・届いた声、その答え …… P.14～15
- ・議会だよりがリニューアル …… P.16

## Topic

### キツキノオカネ ～当初予算編～



こんな事業を  
していきます

※数値は端数を処理しているため、合計などに差が出る場合があります。

<b>上地区コミュニティセンター整備事業</b> 旧上小学校の改修整備を実施	1億円
<b>学校給食費無償化事業</b> 市内の幼稚園、小・中学校の給食費の無償化を引き続き実施	9,966万円
<b>物価高騰対策事業（こども園等給食費無償化）</b> こども園などの給食費無償化を引き続き実施	1,333万円
<b>観光協会支援事業</b> 杵築市観光協会と連携して、新たにグルメをテーマとした商品開発なども実施	2,400万円
<b>すくすく子育て応援事業</b> 小学校と中学校入学時に祝金として、5万円の商品券を支給	1,881万円
<b>先導的官民連携支援事業</b> 市が保有する文化施設などを活用した宿泊施設等を検討するため、官民連携による導入可能性調査を実施	1,320万円
<b>中学校施設整備事業（体育館空調設備）</b> 市内中学校3校の体育館空調整備を実施（R9完成予定）	1,198万円
<b>電子図書館導入事業</b> 電子図書館の導入経費	992万円
<b>都市機能再生事業</b> 杵築市立地適正化計画で、都市機能誘導区域に位置付けているJR杵築駅周辺の活性化を目指して、課題の整理や活用方法などを検討し、基本構想を策定	786万円

## 令和 8 年度一般会計当初予算

# 195 億 7,000 万円 (前年比 + 2.8%)

### 令和 8 年度特別会計当初予算

(前年比 %)

ケーブルテレビ事業特別会計	12億1,072万5,000円	113.8
国民健康保険特別会計	31億6,853万3,000円	△ 1.1
後期高齢者医療特別会計	6億5,125万4,000円	11.2
介護保険特別会計	37億1,716万5,000円	△ 1.6

### 令和 8 年度公営企業会計当初予算

(前年比 %)

水道事業会計	13億9,936万7,000円	18.4
工業用水道事業会計	1,761万8,000円	△ 7.2
下水道事業会計	16億6,615万円	2.5
山香病院事業会計	44億3,494万4,000円	11.5

### 令和 7 年度一般会計補正予算

補正額△ 8 億 3,141 万 6,000 円 (補正後予算額 217 億 7,541 万 5,000 円)

### 主な議案

#### 条例

#### 杵築市コミュニティセンター条例の一部改正について

東山香地区コミュニティセンターの完成に伴い、所在地を変更するため、所要の改正を行うもの

#### 杵築市特別職の職員の給料月額の特例措置に関する条例の一部改正について

本市の財政状況を鑑み、市長や副市長、教育長の給料月額を減額するため、所要の改正を行うもの

#### その他

#### 杵築市過疎地域持続的発展計画の変更について

計画期間終了に伴い、杵築市過疎地域持続的発展計画を変更する必要があるため、議会の議決を求めるもの

#### 市道の路線認定について

谷本篠線の路線認定をするため、議会の議決を求めるもの

※ 12 月議会において請願として提出され、採択したものです。



#### 予算づくりの流れ

- ①市役所各課からの予算要求をとりまとめ市長が予算案を議会に提出
  - ②審査するための予算特別委員会を設置
  - ③特別委員会で担当部局などへ質疑などを行い審議する
  - ④本会議で特別委員会の結果を報告
  - ⑤本会議で議決 (予算案が議決されないときは、暫定予算が組まれることも)
- ▶今回はすべての予算において【原案可決】

# 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

議案番号	案件名	採決結果
<b>市長提出議案</b>		
1	令和8年度杵築市一般会計予算	可決
2	令和8年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計予算	可決
3	令和8年度杵築市国民健康保険特別会計予算	可決
4	令和8年度杵築市後期高齢者医療特別会計予算	可決
5	令和8年度杵築市介護保険特別会計予算	可決
6	令和8年度杵築市水道事業会計予算	可決
7	令和8年度杵築市工業用水道事業会計予算	可決
8	令和8年度杵築市下水道事業会計予算	可決
9	令和8年度杵築市立山香病院事業会計予算	可決
10	令和7年度杵築市一般会計補正予算（第11号）	可決
11	令和7年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第4号）	可決
12	令和7年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
13	令和7年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
14	令和7年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
15	令和7年度杵築市水道事業会計補正予算（第4号）	可決
16	令和7年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第3号）	可決
17	杵築市行政組織条例の一部改正について	可決
18	杵築市コミュニティセンター条例の一部改正について	可決

PICK UP!

議案番号	案件名	採決結果
19	杵築市特別職の職員の給料月額に関する条例の一部改正について	可決
20	杵築市職員の給与の特例に関する条例の制定について	可決
21	杵築市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
22	杵築市企業立地促進条例の一部改正について	可決
23	杵築市漁港管理条例の一部改正について	可決
24	杵築市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決
25	杵築市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
26	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
27	市道の路線認定について	可決
<b>市長提出議案 報告</b>		
1	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度杵築市一般会計補正予算（第10号））	承認
<b>市長追加提出議案</b>		
1~2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
<b>議員提出議案</b>		
1	中東情勢の緊迫化を踏まえ即時停戦と平和的解決を働きかけるよう求める意見書	可決
<b>付議事件</b>		
	閉会中各委員会の継続審査（調査）について	可決
	議員派遣について	可決

PICK UP!

## 議案質疑

### 議案第19号と議案第20号について

**Q** 財政状況を鑑み、特別職の給料を減額とあるが財政状況は悪いのか。何を基準に判断しているのか。

**A** 改善はしてきているが、今後も厳しい状況が続くと予想している。中期財政収支の試算では、令和6年度の経常収支比率89.3に対し、令和7年度の見込みは94.2、令和8年度も93.5と予想。令和8年度の人件費は30億4,500万円で、中期財政収支の試算より2億4,600万円増えた。

**Q** 中期財政収支の試算が理由とこのことだが、それだけか。

**A** 一般職の職員のラスパイレス指数も理由。想定では101.1。令和7年度で見ると、中核都市や政令指定都市などを除いたときに、上位1,700ぐらい団体がある中の40位ぐらいになる。職員給与のカットをする以上、特別職が率先して給与の削減という対応を取ること、財政状況の2つが要因である。

**Q** ラスパイレス指数が100を超える原因は。

**A** 高卒・短大卒・大学卒の区分を設けずに、同じ採用試験を実施していること。国家公務員とは異なり、学歴別に給与水準の差を設けていないため。

**Q** 減額しなければ、国からのペナルティはあるのか。

**A** 令和7年度では、普通交付税の算定上、ラスパイレス指数100との差で割り増し、割り落としがあった。カットをせずに100を超えた指数と給与カットし、100を切った指数では、交付税の差は460万円ほど。

**Q** 職員給料一律1.5%カットということについては、何かしらの対策ができたのではないか。中高年層が多くなっていることによって、ラスパイレス指数が上がっているのであれば、むしろ若年層に関しては減額をしないという形も取れたのではないかと思う。

**?** 「ラスパイレス指数」とは  
全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

# 議案の賛否

議案などに対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案 番号	議案等名	結果	表決数 賛成：反対	議員名（議席番号順）																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				坂本哲知	木元洋一郎	酒井健太	船尾はるな	多田忍	工藤壮一郎	真鍋公博	阿部素也	田原祐二	堀典義	田中正治	二宮健太郎	小野義美	岩尾育郎	加来喬	渡辺雄爾	小春稔	泥谷修
議案第1号	令和8年度杵築市一般会計予算	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
議案第25号	杵築市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		

○[賛成]    ×[反対]    欠[欠席]    一[退席]    議長は除く

# 請願・陳情

採択

第1号

## 西下司溜池取り付け道路及び生地支線の市道編入について

溜池をメンテナンスする上で、重要な取り付け道路となっていることや、津波災害時の迂回路としての役割が期待できることから、市道への編入を要望するもの。

- 付託委員会 産業建設常任委員会
- 請願者 東西下司水利組合、西下司区



採択

第2号

## 市道下原下司線の道路拡幅について

救急車や消防車両が通行できない部分について、拡幅を要望するもの。

- 付託委員会 産業建設常任委員会
- 請願者 東下司区



継続  
審査

第3号

## 農業用償却資産に対する固定資産税の免除に関する条例制定を求める請願

杵築市の基幹産業である農業経営の安定、後継者を含む新規就農者の定着を促進するため、農業を営む法人や個人が取得する農業用償却資産について固定資産税の免除を定める条例の制定を要望するもの

- 付託委員会 総務常任委員会
- 請願者 杵築市柑橘研究会、杵築野菜研究会、杵築いちご研究会、東部エリア花卉研究会、山香町野菜生産組合、畜産団体代表杵築畜産研究会



どなたでも市議会に請願・陳情することができます。

請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。請願書を提出するには市議会議員の紹介が必要になります。詳しくは、市公式ウェブサイト、または議会事務局までお問い合わせください。

# 一般質問

どうする杵築？市政を問う！



## 一般質問の動画を公開しています

スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ると一般質問の動画をご覧いただけます。

日程：令和8年3月3日、4日、5日

12人の議員が、市政に関する諸課題について一般質問を行いました。

質問者	質問の要旨
堀 典義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杵築駅周辺の整備について</li> <li>・地域公共交通について</li> <li>・213号沿線の振興について</li> <li>・杵築城下町観光について</li> </ul>
加来 喬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風力発電の設置計画</li> <li>・可燃ごみ袋の品質</li> <li>・水稻の作付け計画</li> <li>・税と社会保障</li> <li>・庁舎と病院建設</li> </ul>
工藤壮一郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杵築市立地適正化計画について</li> <li>・杵築市未来へつなぐ基金について</li> <li>・生活保護制度について</li> </ul>
船尾はるな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米を巡る政策と米農家の支援について</li> <li>・オーガニックビレッジ宣言について</li> <li>・障がい者などの就労支援体制の充実について</li> </ul>
真鍋 公博	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等総合管理計画について</li> <li>・公共施設等個別計画について</li> <li>・長寿命化などを含む個別計画について</li> <li>・新しい公共施設などについて</li> </ul>
岩尾 育郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山香夏まつりなどについて</li> <li>・少子化対策について</li> </ul>
小野 義美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税について</li> <li>・山香3大まつりについて</li> <li>・コミュニティセンターの職員配置について</li> <li>・農業問題（中山間制度）について</li> </ul>

質問者	質問の要旨
田原 祐二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少対策と住み続けられるまちづくりについて</li> <li>・高齢者支援と地域包括ケアの強化について</li> <li>・空き家や地域資源の利活用について</li> <li>・徘徊のおそれのある認知症高齢者への支援について</li> <li>・信号機が設置されていない横断歩道などの安全対策について</li> </ul>
坂本 哲知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行について</li> <li>・若者世帯への支援策について</li> <li>・林野火災注意報・警報について</li> <li>・令和8年度当初予算について</li> <li>・災害復旧工事について</li> <li>・定点カメラについて</li> </ul>
木元洋一郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税について</li> <li>・不登校児童生徒誰ひとり取り残さない多様な学びの保障と、旧立石小学校を再活用する「学びの多様化学校」の設置について</li> <li>・大分県下18市町村で唯一の「市民会館不在」解消に向けた、杵築市の文化振興拠点整備の具体的計画について</li> <li>・共通ごみ袋極小について</li> </ul>
酒井 健太	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸なまちづくりについて</li> <li>・部活動の取り組みについて</li> <li>・今後のファシリティマネジメントについて</li> <li>・杵築市の職員の人員構成について</li> </ul>
小春 稔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農政問題について</li> <li>・令和8年度のふるさと納税の強化について</li> <li>・ふるさと納税に関連する、商品開発と産地育成について</li> </ul>



## 杵築駅周辺の整備について

**Q** 具体的な整備計画は。

**A** 昨年6回にわたり関係機関が集まり勉強会を行った。ハーモニーランドとの連携強化や交通結節点としての機能強化、城下町への誘客促進が重要なテーマである。本年度、駅周辺の活性化を目指し、課題を整理し基本構想を策定する。

**Q** 駅の機能改善・整備は。

**A** 商業施設や公共交通の待合スペース、トイレ、多目的広場など、基本構想策定の中で整備内容を検討。

## 地域公共交通について

**Q** 現行コミュニティバスやタクシーの運行形態の見直し計画はいつ頃か。

**A** 地域公共交通利便増進実施計画は、令和8年度末までに一定の方向性を取りまとめる。

**Q** AIオンデマンドタクシーの導入については、免許を持たない交通不便者などは大きな期待をしている。実証運行はいつ頃を予定しているか。

**A** 実施時期は確定していないが、令和9年度以降の実証運行を検討。

**Q** 80歳を迎える多数の団塊世代や免許返納者の増加を踏まえると、市民の移動手段の確保は喫緊の課題である。AIオンデマンド交通を含めた新たな運行形態については、市民の期待も大きく、早期の実施を図るべきである。

**A** 極めて重要な課題であると認識している。実証運行などの具体的な取り組みは、地域公共交通活性化協議会での協議を経ることになるが、可能な限り速やかな実施を目指したい。

**Q** 地域公共交通活性化協議会の場が重要となる。会長でもある副市長の所見を伺う。

**A** 本市にふさわしい持続可能で実効性のある交通体系の実現に向け、全力で取り組む。

**Q** 杵築駅周辺の整備や地域交通計画は、市長の公約である。取り組む決意を伺う。

**A** JR 杵築駅周辺整備と公共交通施策は一体の取り組みである。杵築市全体の活性化を図る強い決意のもと、全力で取り組む。

### その他の質問

- ・213号沿線の振興について
- ・杵築城下町観光について

## 可燃ごみ袋の品質

**Q** 可燃ごみの袋が破れやすいことを市は把握しているか。

**A** 市民やごみ収集業者から、袋が裂けて破れることがあるという声を聞いている。

**Q** 可燃ごみ袋を改善すべきでは。

**A** 今後検討したい。

**Q** 使用前に破れた可燃ごみ袋は交換してもらえるのか。

**A** 使用前と確認できれば交換したい。不良品などがあれば製造業者に対応を求めていく。

## 庁舎と病院建設

**Q** 病院建設は、過去に建て替えを検討したが進展がない。庁舎も建設場所すら決まっていない。現在の経済状況での建て替えは財政的にリスクが高く、安定した経済成長や交付税などの財源確保、病院経営の筋道がつかなければ、建設後の起債償還は大きな負担となりかねないが、どう考えているのか。

**A** 本庁舎は昭和61年7月に建築された商業店舗を活用し、築39年が経過している。公共施設等総合管理計画で、更新、再整備に位置づけられているが、具体的な検討状況にない。総事業費も算出していない。

市立山香病院の老朽化は極めて深刻で、早期の対応が必要。現在、将来の人口動態や医療需要にもとづいた持続可能な経営形態を検討している。市全体の医療資源を最大限に活用するため、民間医療機関との機能分担や連携の在り方を含め、慎重に協議を重ねている。具体的な着手時期や建設場所を明示できる段階ではないが、市財政に過度な負担がないよう、適切な規模と機能を精査している。他自治体の類似病院を見ると、建設費だけで100億円を超える事例ある。地方交付税措置の基準単価上限で試算すると病院本体のみの整備費は、約76～115億円。莫大な事業費と将来の起債償還、病院運営コストが市の財政を圧迫し、市民サービスに影響を及ぼさないよう、慎重かつ着実に検討を進める。

くどう そういちろう  
工藤 壮一郎  
(令和会)



ふなお  
船尾 はるな  
(市民と歩む会)



## 杵築市立地適正化計画について

**Q** これまでの計画と比べた変更点は。

**A** 主な改定内容は、都市再生特別措置法が改正され、居住誘導区域に対し防災・減災対策を示す「防災指針」の作成が可能になったことから、都市機能が集積する北浜・塩田地区を対象とした中心市街地エリアを新たに「誘導区域」に設定した。このエリアは持続可能な都市経営の核となるにふさわしい地区である。

**Q** 「防災指針」とは、どのような方針を考えているのか。

**A** 本計画の基本理念である「未来につながる安全で住みやすいまちづくり」の実現に向け  
①浸水被害などの低減と都市構造の強化  
②迅速な避難による被害低減  
③中長期的な期間を見据えた災害リスク回避策の検討  
以上の取組方針を設定している。

## 杵築市未来へつなぐ基金について

**Q** どのような理由で設置された基金か。

**A** 別杵速見地域広域市町村圏事務組合はこれまで秋草葬斎場の残骨灰の取り扱いについて検討が続けられてきた。未来を担う子どもたちへその命をつないでいくという思いから、売り払い収入を次世代への遺産として活用することとした。子どもたちへの助成を通して、住民の福祉の増進を図ることを目的として設置した。

**Q** その基金を使ってどのような事業に取り組む予定か。

**A** ①市内の小中学校においてグローバル人材の育成と多文化共生の推進を図る国際交流事業  
②文化財指定を受けた地域の伝統芸能などに活用してもらう、こども伝統芸能継承事業  
③タブレット端末を利用した小中学生の読書活動を推進する電子図書館導入事業  
以上を来年度予算に計上している。

## 米を巡る政策と米農家への支援について

**Q** 国の方針の流れをどう受け止めてきたのか。

**A** 市内農業の持続可能性の確保が重要であると認識している。

**Q** 国の方針が変わっても市として一貫して守るものとは。

**A** 国の方針に沿いながら柔軟に農業政策を進める。生産者目線で課題に向き合い、安定供給と農家の経営安定を図ることで、農地保全や環境維持、防災などの多面的機能につなげ、第一次産業への支援を続ける。

**Q** 荒廃農地が約25%に達する中、中山間地域の小規模農家の継続に向け、需要創出をどう進めるのか。

**A** 学校給食での地元産米の活用については、実績はあるものの、価格や量の安定供給に課題がある。一日2000食の提供に対し地元供給のみでは対応が困難なため、生産者との事前調整で供給量の確保を進めている。公共施設や観光客向け飲食店での活用をPRし、市内消費の拡大を目指す。

## オーガニックビレッジ宣言について

**Q** これまでの調査・研究を踏まえ、市の考えにどのような変化があったのか。

**A** 有機農業は重要と認識しているが、実践者の少なさや生産・流通体制などに課題がある。今後は関係者による研究・検討を進め、国やJAの動向も踏まえながら方向性を整理する。

**Q** 関係者と連携した具体的な話し合いの場を早期に設け、将来に向けた方向性を示し、本市の農業が誇りを持って次世代へつながることを強く期待する。

## 障がい者などの就労支援体制の充実について

**Q** 障がい者の就労選択支援の体制は。

**A** 就労選択支援は重要だが、市内整備の見通しはない。相談支援や関係機関の連携により、安心して働き続けられる環境づくりを進める。

**Q** 誰もが社会とつながり続けられるよう支援の充実を求める。

まなべ きみひろ  
真鍋 公博  
(令和会)



いわお いくお  
岩尾 育郎  
(新風会)



## 公共施設等総合管理計画について

**Q** 公共施設等総合管理計画の具体的な数値目標は。

**A** 2035年度までに2016年度時点と比べて保有面積を30%、約5万7,000㎡の縮減を目標としている。

## 長寿命化などを含む個別計画について

**Q** 長寿命化や更新・再整備、総量縮減、この3つの運用評価ごとに区分した、その内容と施設数は。

**A** 3つの運用評価ごとの区分と施設数については、長寿命化が27施設、更新・再整備が18施設、総量縮減が33施設となっている。

**Q** 「杵築市学校施設長寿命化計画」のローリング、見直しはどうなっているか。

**A** 計画策定から6年が経過。計画策定時には予定していなかった、蛍光灯の生産終了に伴う照明設備のLED化への対応や令和8年度当初予算にも計上している体育館への空調整備など、多額の予算を必要とする事業も実施していく予定。

**Q** コミュニティセンターの現状と今後の課題は。

**A** 地域活動や住民交流、防災拠点として、重要な役割を担っている。一方で、建設から年数が経過している施設も多く、老朽化や耐震性、機能的な面で課題がある。長寿命化を基本とし、計画的な修繕や機能の面の改善により、安全性の確保を図っていく。

## 新しい公共施設などの建設計画について

**Q** 道の駅をはじめ、文化施設、スポーツ施設の建設は、規模、場所など、建設するかどうかも含め、いろいろなパターン、シミュレーションをしてほしい。

**A** 道の駅は、庁内にワーキンググループを設置し、検討を進めている。その他の公共施設は、杵築市公共施設等マネジメント推進委員会の中で、総合的に検討していく。

**Q** 住みやすいまち、世代ごとにバランスの取れたまち、少しは夢のあるまちづくりを願う。

**?** 「長寿命化」とは

建物を将来にわたって長く使い続けるため、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、その機能や性能を求められる水準まで引き上げること。

## ふるさとまつりなどについて

**Q** 山香ふるさとまつりなどについて、どのような方針で行うのか。

**A** これまで実行委員会方式で実施してきたが、令和8年度から市が直接実施する。

**Q** 名称はどうなるのか。

**A** おっとりっしょ山香夏まつり2026、山香ふるさとまつり2026と西暦を付け加える。マラソンについては、山香10マイルロードレース2026とする。

**Q** 場所および日程については。

**A** 山香10マイルロードレース2026については5月4日、おっとりっしょ山香夏まつり2026は8月11日、山香ふるさとまつり2026は11月14日、15日、それぞれ山香庁舎前ふれあい広場で実施する。

**Q** プレミアム商品券などに使う交付金は、こうしたイベントには使えないのか。

**A** 生活支援などが趣旨の交付金となっており、イベントなどには一切使用できない。

**Q** ふるさとまつりについては、かねて言っているとおり、収穫祭という形を前面に出して、山香地域だけではなく杵築市全体の収穫祭として、杵築の農産物、できれば水産物を含め杵築市の産品を幅広く提供するような場所であってほしい。そういうものが会場の中心に据えられるような企画をしてもらいたい。

**A** 目下、課内で少しでも楽しんでもらえるよう検討を重ねている。

## 少子化対策について

**Q** 今年度の出生数は。

**A** 1月末時点で79人。内訳は杵築地域が69人、山香地域9人、大田地域1人となっている。

**Q** 令和8年度の新規事業は。

**A** 新規事業はない。

**Q** 市の婚姻数の推移は。

**A** 県の統計資料によると、平成25(2013)年146組、平成30(2018)年105組、令和5(2023)年73組となっている。

**Q** 少子化対策はほとんどの課に関係する問題だ。それぞれが自分の課で何ができるのかを常に考え、施策に反映させてもらいたい。

おのよしみ  
小野義美  
(市民クラブ)



たはらゆうじ  
田原祐二  
(公明党)



## 市税について

Q 市税項目は。

A 個人市民税、法人市民税、固定資産税、国民健康保険税、市たばこ税などがある。

Q 税額ランキング(令和6年度)は。

A 固定資産税16億6,701万5,000円、個人市民税8億8,023万3,000円、国民健康保険税5億8,350万4,000円、法人市民税2億3,126万3,000円、市たばこ税1億8,611万1,000円などである。

Q 固定資産税の内容は。

A 土地、家屋、償却資産の3種類があり、土地家屋は3年ごとに評価替えを行う。

Q 所在不明者件数(令和7年度)や対応は。

A 123件で相続人や転居先に公示送達を行っている。

Q 徴収率は。

A 令和2年度94.1%、令和6年度98.9%と上昇している。

## 山香3大まつりについて

Q 昨年の実施状況は。

A エビネまつりとふるさとまつりは実行委員会主催で開催され、夏まつりは休止。

Q 今年の計画と日程、予算は。

A 市直営で実施。

イベント	開催予定日	計上予算
山香10マイルロードレース2026(旧エビネまつり)	5月4日(月・祝)	50万円
おっとりっしゃ山香夏まつり2026	8月11日(火・祝)	140万円
山香ふるさとまつり2026	11月14日(土) 15日(日)	200万円

## コミュニティセンターの職員配置について

Q センター長の不在時が多く生じている理由は。

A 1人体制で所用や振替休暇、年次有給休暇の取得などで不在時が多くなっている。

Q 不在時間の解消についての対策は。

A 東山香、向野、奈狩江の3地区をモデル地区とし、センター長と事務局長を配置予定である。

Q 両者は常時協議し、協働の支援体制を願う。

## 農業問題(中山間制度)について

Q 中山間地域等直接支払制度の第6期目の参加数、面積、交付金は。

A 市内全体で79集落、面積971万2,882㎡、交付金1億1,670万7,996円である。

Q 交付金の杵築市の負担割合は。

A 国1/2、県1/4、市1/4である。

Q 参加集落の推移は。

A 令和元年度83集落、令和7年度79集落と減少した。

Q 今後の対応は。

A 高齢化と担い手不足が主な原因で、広域化などの推進で支援する。

## 人口減少対策と住み続けられるまちづくりについて

Q 人口減少の要因をどのように分析しているのか。

A 自然減では、死亡数が出生数を上回る状況が続いており、若年女性人口の減少が出生数の減少につながっている。社会減では、進学や就職での若年層の市外流出が大きな要因であり、20代前半の転出超過が顕著な状況である。若年層の流出は将来の担い手不足にも直結する重要課題であると認識している。

Q 今後、若者や子育て世代の定住対策をどのように展開していくのか。

A 地元企業との連携強化や企業誘致の推進により安定した雇用の確保を図り、子ども医療費助成や保育・教育環境を充実させ、安心して子育てができる環境整備を図る。さらに、空き家の利活用や住宅支援を充実させ、定住につながる住環境の整備が必要だと認識している。

Q 医療・介護・生活支援など、日常生活を支える体制は今後どのように維持、強化していくのか。

A 重層的支援体制整備事業に取り組み、高齢者に限らず、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる地域共生社会の実現のため相談支援体制の構築に注力している。医療・介護では、地域包括ケアシステムを推進し、関係機関との連携を強化することで切れ目のない支援体制の安定運営を図る。生活支援では、買い物支援や見守り体制を充実させるため、地域や民間との連携により支え合いの仕組みづくりを目指す。移動手段では、コミュニティバスや乗合タクシーなどの利用実態や移動ニーズを確認し、公共交通網の見直しをしながら、高齢者の利便性を確保し、日常の移動手段の維持・向上に努める。

### その他の質問

- ・空き家や地域資源の利活用について
- ・徘徊のおそれのある認知症高齢者への支援について
- ・信号機が設置されていない横断歩道などの安全対策について

### 「重層的支援体制整備事業」とは

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくり」に向けた3つの支援を一体的に実施するもの。杵築市では令和4年度から取り組んでいます。

さかもと てつり  
坂本 哲知  
(令和会)



きもと よういちろう  
木元 洋一郎  
(無所属)



## 部活動の地域移行について

**Q** 部活動の地域移行とは。

**A** 名称が地域移行から地域展開に変わった。部活動を地域の方々の力を借りながら、学校単位から地域のスポーツクラブや団体に段階的に移す取り組み。

**Q** 現在の状況は。

**A** ここ3年間で、バドミントン、陸上、サッカーの3種目が地域展開している。

**Q** 地域展開の課題は。

**A** 指導者、受け皿団体、練習会場の確保、生徒の送迎などが課題。

**Q** 生徒がよりよい環境の中で、自分の得意分野で活動できることが望ましい。家庭の経済状況により子どもの活動機会が左右されないよう、公的な補助制度や減免措置などを導入してほしい。

## 若者世帯への支援策について

**Q** 小中学校入学祝金支給事業とは。

**A** 小学校と中学校入学時に5万円分の商品券を支給する事業。商品券の支給は5月1日からとしている。

**Q** 商品券の支給時期を早めることはできないか。

**A** 支給対象者にアンケートを実施した結果、支給時期については回答者の半数がこれまでどおりで良いとの回答があった。

**Q** 入学前に支給すれば子どもに必要な物品を購入でき、負担軽減となるので検討してほしい。

## 林野火災注意報・警報について

**Q** 林野火災注意報・警報とは。

**A** 令和8年1月1日から施行。前3日間の合計降水量が1ミリ以下で、前30日間の合計降水量が30ミリ以下の場合、または前3日間の合計降水量が1ミリ以下で、乾燥注意報が発表された場合に林野火災注意報が発令される。林野火災注意報の発令基準に加え、強風注意報が発表された場合には、林野火災警報が発令される。

**Q** 防災ラジオ、ケーブルテレビでの周知を要望する。

### その他の質問

- 令和8年度当初予算について
- 災害復旧工事について
- 定点カメラについて

## 学びの多様化学校・不登校特例校の設置検討について

**Q** 文部科学省が設置を強く推進する学びの多様化学校は、独自の評価基準で卒業資格も保障される正式な「学校（一条校）」である。子どもの側に教育を合わせるこの仕組みこそ、杵築市に今必要ではないか。

**A** 子どもの側に教育を合わせるという理念を具体化する取り組みであり、市としてもその方向性は重要であると認識している。市としては、このような国の動きも注視しながら、学びの多様化学校の良さを活かしつつ学校教育支援センター「ひまわり」や校内教育支援ルームにおいて、支援をさらに充実させていく考えである。

**Q** 令和8年3月末に閉校を迎える「立石小学校」の校舎活用は、杵築市の教育課題を解決する最大の好機である。市内外から児童生徒を受け入れる「学びの多様化学校」として再生させるべきではないか。

**A** 立石小学校閉校後の校舎を含めた跡地の利活用は、いろいろな用途への利活用が考えられます。地域の意向も考慮しながら、地域の賑わいが創出できるような利活用を検討したいと考えている。

**Q** 子どもが激減し、学校へ行けない、また行き渋りの児童生徒は増えている状況下、杵築市が今後ずっと存続していくためには児童生徒への公教育を見直し多様に対応でき、杵築市に誇りを持てる教育をしていかなければならないと思う。そのためには支援ではなく、一条校でなければならない。立石小学校は神様からの贈り物、ぜひ学びの多様化学校を検討してほしい。



3月末で閉校した立石小学校校舎



### 「一条校」とは

学校教育法第1条に定められている学校のこと。  
(※国が正式に学校として認めているもの)

さかい けんた  
酒井 健太  
(新生きつき)



こはる みのる  
小春 稔  
(市民クラブ)



## 部活動の取り組みについて

**Q** 子どもたちがしたい部活動を選べないケースが現実的にある。今後は学校という垣根を越え、競技ごとに「一つの大きなチーム」を形成していくべきと考える。場所的な課題も発生するので、交通手段を構築することも提案する。部活動の集約化についてどう考えているか。

**A** 単独校でチーム編成が困難な場合は、生徒や保護者との合意形成を図りながら、集約することも必要であると考えます。なお、競技をする場所や移動などに関する諸課題については検討を重ねていく。

## 今後のファシリティマネジメントについて

**Q** 公共施設等総合管理計画に、少子高齢化が進み生産年齢人口は減り、介護医療費の支出が増え税収も減っていく中で、計画的に施設の集約化や老朽施設の廃止を推進し、市の保有面積を削減しなければならないと書いていた。適切にマネジメントしなければ、杵築の未来が危ないことも書かれている。地域の声などから廃止にできない施設もあると思うが、それらは人間と同じく、歳を重ねればメンテナンスが必要。今の杵築市には思い出や感情だけで維持するには、とても荷が重すぎる施設も少なくない。未来にツケを回さないための、シビアかつ賢明な断捨離や再編が必要になってくる。今後どのようにファシリティマネジメントをしていくのか。

**A** 今年度中に公共施設等総合管理計画を見直す。現在の老朽化度・利用状況・維持コストを可視化し、総量縮減などを具体的に進めるためのロードマップを策定する。複合多機能化や集約化などにも積極的に取り組む。

**Q** 杵築のために一体何がベストなのか、常に考えるべき。ベターではなくベストを追求してほしい。未来に向けた合意形成を共に取り組んでいこう。



### 「ファシリティマネジメント」とは

企業・団体などが組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動のこと。

## 農業水利施設（池や水路）の老朽化対策について

**Q** ため池や水路の老朽化が進んでいるが、改修するにはどのような事業があり、受益者負担はどのくらい必要なのか。

**A** 水利施設の老朽化は、全国的な問題となっている。複数のメニューがあり、国の補助を受けて、大分県が事業主体となる場合や、市が事業主体となり実施する場合がある。いずれの場合も受益面積・事業費・受益者数・事業内容など、さまざまな要件が定められており、受益者負担は、事業の種類によって異なる。ため池の場合は、事業費に対して0～10%、水路の場合は3～10%の負担が必要である。

**Q** 大規模園芸団地は、今後杵築市の農政の最重要課題となるが、特産品の開発と併せて今後の実施に向けた計画は。

**A** 令和7年2月に、大分県農業成長産業化推進本部を設置した。市においても、より具体的な取り組みを实行するため、杵築市農業成長産業化推進本部を設置し、農業成長産業化に向けて基軸となる「大規模園芸団地の計画的整備」を進めているところである。

## 耕畜連携について

**Q** 連携する畜産農家に対して、WCSの刈り取り、運搬、堆肥の散布など多大な費用がかかっている。機械のメンテにかかる費用の一部だけでも、補助事業の設定はできないか。

**A** 令和3年度までは稲WCSの普及促進を図る目的で、市の単独事業による支援を行った経過があり、一定の目標に達したため、現在は実施していない。大分県（農業再生協議会）では資源循環を行う耕種農家を対象とした耕畜連携助成の産地交付金の制度があり、畜産農家との利用供給協定により堆肥散布などにかかる費用として支払っている例もあるので、産地交付金の有効活用をしてもらいたい。



### 「WCS」とは

ホール・クロップ・サイレージ（稲発酵粗飼料）。稲の米粒が完熟する前（糊熟期～黄熟期）に、穂と茎葉を同時に刈り取り、サイレージ化した粗飼料のこと。

# 行政視察

## 広報広聴委員会

令和8年1月13日(火) 奈良県<sup>おうじ</sup>王寺町  
令和8年1月14日(水) 京都府<sup>くみやま</sup>久御山町

王寺町と久御山町を訪問し、議会広報の取り組みについて視察を行いました。  
王寺町は、自治体広報のコンクールでも数回受賞歴があるなど、そのクオリティの高さで知られています。  
当日はきつき市議会だよりの添削もしていただき、広報誌づくりのヒントを得ました。  
久御山町は、情報の伝達にとどまらず、町で活躍する「人」にスポットをあてた特集が多く見られ、親しみやすさが工夫されていました。また各ページの見出しもジャンプ率（フォントの大小）を使い分け見やすさを意識して作っているように感じました。  
今回の視察で得たノウハウを活かし、一人でも多くの方に手に取ってもらえるような「議会だより」を目指します。



奈良県王寺町



京都府久御山町

## 議会運営委員会

令和8年2月3日(火) 佐賀県<sup>かんざき</sup>神埼市  
令和8年2月4日(水) 鹿児島県<sup>いずみ</sup>出水市

神埼市では、議会改革検討特別委員会の取り組みについて視察を行いました。「神埼市議会議員政治倫理条例」を制定するまでの経緯について説明を受けました。また、議員研修や議会報告会・出前講座の意見交換も行いました。  
出水市では、毎月20日前後に議員全員協議会を開催。議員間の情報交換や研修などを開催しているとのことでした。また、概ね10人以上の団体を対象に「議員と語る会」を開催していました。  
本市議会でも、各種団体や市民との意見交換会を開催しており、今回の視察で得たノウハウを今後の議会運営に活かして参ります。



佐賀県神埼市



鹿児島県出水市

**?** 「議会運営委員会」とは  
市議会を円滑に運営するための委員会。会期や議事日程、議案、質問の取り扱いなどの協議や調査、審査します。

## 市民との 意見交換会 で出た要望

### 学校体育館の冷暖房設置

令和8年度は中学校3校の設計委託を行い、令和9年度に設置予定。小学校は令和9年度からの予算要求を予定。設計委託の翌年度に設置予定で、3年程度で各小学校に順次設置を予定しています。

### 給食費無償化の 継続と給食の質の維持

幼稚園・小学校・中学校やこども園では、給食費無償化を実施しています。給食の質の維持に対しても、食材費高騰に対する予算を計上しています。



### 出産祝金の増額

現在、妊婦支援給付金事業では、国の制度にもとづき、妊娠期に5万円、出産後に子ども1人に対して5万円の給付を行っています。これは全国统一された制度であることから、国の見直しがなされれば対応をしていきたいと思えます。

### 有害鳥獣捕獲 報奨金の増額

班長会議で協議を行い、ご理解いただいています。

### 地域おこし協力隊 の増員

効果的な人員の配置を考えています。

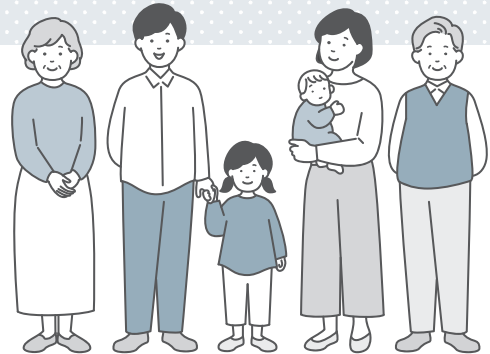
### 公共施設の FREE Wi-Fi 化

検討を進めたい。

## Topic

## 届いた声、その答え

令和7年12月19日(金)に提出した要望書について、執行部から回答がありました。その中から主なものを抜粋し、お知らせします。



### 全地区に 移住サポーターの設置

地域おこし協力隊員を市役所内に配置し、移住・定住に関する相談対応や支援を行っており、「移住サポーター」の配置は行っていません。しかしながら、大田地域では、住民自治協議会などによる独自の取り組みとして空き家対策サポーター2名を配置し、空き家バンク登録の働きかけや内覧同行などの支援を行っており、登録件数や成約件数の増加につながっています。今後はこの大田地域の取り組みを先進事例として、住民自治協議会連絡会議などの場において共有し、取り組み地域の拡大を図っていきます。



## 各種団体 ・移住者 ・地域おこし協力隊 との意見交換会 で出た要望

### 交通手段の確保

市では「地域公共交通計画」を策定し、市民などの移動ニーズを的確に把握するとともに、路線バスの持続的な運行に向けた支援にも努めています。今後も、近隣自治体や運行業者など、関係機関と協議を行い、効率的で利便性の高い公共交通網の維持に努めていきます。

## 各種団体

- ・ 放課後児童クラブ
  - ・ 杵築市PTA連合会
- ### との意見交換会 で出た要望

学校に設置している  
AEDについて、土曜日など  
学校が開いていない日にも  
使用できるようにしてほしい

貸出しに際して、学校施設のセキュ  
リティなどの課題を整理して検討  
したいと思います。

ふるさと納税の  
使い道について  
(教育振興に特化する)

教育振興にも活用しており、  
今後も強化を行っていき  
たい。

## 入学祝金（支給時期の 見直しと高校生までの拡充）

令和7年度の支給対象者に対し支給時期な  
どについてアンケートを行ったところ、支給  
時期について回答者の約半数が「これまでど  
おりの支給時期でよい」との回答があり、令和  
8年度も例年どおりの支給時期を予定していま  
す。ただ、今後もアンケートなどを行いな  
がら支給時期について検討していきたいと思  
います。また、祝金の増額や高校生への拡充  
は予定をしていませんが、現状の施策  
を引き続き継続していきます。

## 施設の整備 (遊具の点検・整備など)

施設の現状は現地確認などで把握  
しています。また、毎年遊具の点検・  
修理などの必要な対策を行って  
います。今後も児童が安全に利用で  
きるよう施設の整備に努めて  
いきます。



## ふるさと納税事業に 対する専任職員の配置

ふるさと納税の専任職員を配置することで、職員  
の人件費を全額ふるさと納税経費として計上す  
る必要があります。ふるさと納税にかかる経費は、  
返礼代金から事務経費を含めて、寄附額の50%以  
内にしなければならないと、総務省通知により指定さ  
れています。

現在2名の職員を商工観光課ブランド・ふるさと  
納税係に配置しており、その人件費の一部をふる  
さと納税にかかる経費として計上をしています。  
そのため、現在の寄附額から経費率を考え  
ますと、専任職員の配置は困難である  
と考えています。

## 各種団体

- ・ 東部エリア花き協議会
  - ・ 杵築いちご研究会
  - ・ 杵築地域柑橘研究会
  - ・ ふるさと納税返礼品登録事業者
- ### との意見交換会 で出た要望

## チーム「オール杵築」で ふるさと納税返礼品 開発の取り組み

ふるさと納税は、本市において貴重な  
財源です。ふるさと納税返礼品開発は、  
協力してもらえる返礼品事業者との連携  
体制を強化し、開発に努めていきます。  
また庁内におきましても、関係各  
課との連携強化を図っていき  
ます。

## 物価高騰に 対する燃料費などの 補助金の継続

国の物価高騰対策の交付金が  
活用可能であれば、補助金  
の検討をしたいと考えて  
います。

## 機械設備などの 更新事業に対する 補助金の創設

現在、国・県の補助対象  
外であるため、要望を  
行っていきたい。



# Topic

見やすく、読みやすく、伝わりやすく。  
市民のみなさまにより身近に感じていただけるよう  
議会だよりをリニューアルしました。

## new! きつき市議会だより

こんなところが変わりました



### ▶ 縦組みから横組みへ

縦組みで読みにくかった数字やアルファベットを、横組みに変更して読みやすくしています。

### ▶ UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)の使用

多くの人にとって見やすく読みやすいフォントを使用し、読んでも疲れにくく、読み間違えにくい紙面を目指しています。

### ▶ 注釈の追加

日常生活ではあまり聞き慣れない議会用語や専門的な用語を、注釈つきでわかりやすく説明しています。



議会だよりを読んで、感じたことや聞きたいことをぜひともお寄せください。より開かれた議会づくりの一環として、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。

「きつき市議会だより」のさらなるバージョンアップにご協力をお願いします。

## 定例会日程

### 令和8年 第2回定例会(案)

※正式な日程は  
議会運営委員会で決定します

6月8日(月) 開会
6月16日(火) 一般質問
6月17日(水) 一般質問
6月18日(木) 一般質問(予備日)

6月19日(金) 産業建設常任委員会
6月22日(月) 厚生文教常任委員会
6月23日(火) 総務常任委員会
6月26日(金) 閉会

## 編集後記

リニューアルした「議会だより」は、いかがでしたでしょうか。まだ馴染まない点もあるかと思いますが、ご容赦ください。

広報の視点から常に意識しているのは、「読みやすさ」と「伝わりやすさ」です。議会での議論や決定事項は、市民の暮らしに直結する大切な情報ですが、わかりにくく感じられるのではないのでしょうか。そのため、いろいろな工夫をしながら、誰もが手取りやすい「議会だより」を目指しています。

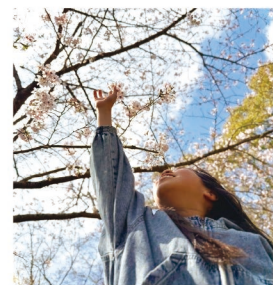
また、広報は「伝える」だけでなく、

市民の声を「聴く」ことも重要です。ご意見などを通じていただいた声は紙面づくりに活かし、より身近で親しみやすい議会だよりへと改善していきたいと考えています。小さな工夫の積み重ねが、より良い情報発信につながると思います。

お気づきの点やご意見がありましたら、ぜひお寄せください。

みなさんの声が「議会だより」づくりの力になります。どうぞよろしくお願いいたします。

広報広聴委員会 真鍋 公博



今号の表紙

桜に手を伸ばしている子どもの様子です。その小さな挑戦が、このまちを思う私たちの背中を押してくれます。杵築城にて撮影。